



平成 30 年 10 月 30 日

各 位

上場会社名 双信電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上岡 崇
 (コード番号 6938 東証第1部)
 問合せ先 経営推進本部長 中西 港二
 (TEL 03-5730-4500)

**平成 31 年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値の差異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 30 年7月 27 日に公表した平成 31 年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、通期業績予想を修正しましたので、併せてお知らせします。

記

1. 平成 31 年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値の差異(平成 30 年4月1日～平成 30 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,200	200	200	110	7.05
実績値(B)	5,131	62	93	3	0.25
増減額(B-A)	△68	△137	△106	△106	—
増減率(%)	△1.3	△68.7	△53.1	△96.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 30 年3月期第2四半期)	5,219	263	259	145	9.36

2. 平成 31 年3月期通期連結業績予想の修正(平成 30 年4月1日～平成 31 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,200	700	700	450	28.85
今回修正予想(B)	10,900	550	580	360	23.08
増減額(B-A)	△300	△150	△120	△90	—
増減率(%)	△2.7	△21.4	△17.1	△20.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年3月期通期)	10,375	508	508	355	22.79

3. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想と実績値の差異および通期業績予想修正の理由

(1)平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想と実績値の差異理由

当第 2 四半期(累計)連結業績は、主に産業機器分野のノイズフィルタ、情報通信機器分野の積層誘電体フィルタと車載用厚膜印刷基板の減少により業績予想を下回りました。

ノイズフィルタの主要市場である工作機械や半導体製造装置などの市況全般は、業績予想時の見込み通り堅調に推移しましたが、中国スマートフォン市況の低迷や韓国半導体メーカーの設備投資延期などにより、当社グループのノイズフィルタの主要市場や顧客の一部で在庫調整が行われたため、ノイズフィルタは業績予想を下回りました。

積層誘電体フィルタは、新規規格無線 LAN 用新製品の本格化を期待しましたが、新市場が十分立ち上がらなかったことや、競合製品の低価格化が進行したことなどにより、当第 2 四半期までは当初の目論見通りに市場参入できず業績予想を下回りました。

車載用厚膜印刷基板は、シェア拡大に伴う当初想定の量産時期が上期から下期にずれ込んだ影響で、確保した人員や設備投資などの先行費用により営業利益が減少しました。

これらの状況により、売上高および各利益とも前回予想を下回りました。

(2)平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の修正理由

通期連結業績予想は、上期堅調に推移した工作機械や半導体製造装置などのノイズフィルタ主要市場が足許弱含みで推移している影響や、新規規格無線 LAN 用新市場の立ち上がりや車載用厚膜印刷基板の本格量産時期の見直し、また、最近の業績動向などを踏まえ、修正しました。

(注記)

業績予想は、現時点で得られた情報にもとづいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上